

建築研究所 ニュース



令和7年1月6日

地震観測技術・解析技術習得のための国際貢献として、4カ国5名の研究者や担当官を対象としたグローバル地震観測研修を開講します。

国立研究開発法人建築研究所では、国際地震工学研修の一環として「グローバル地震観測研修」を令和7年1月8日から3月3日まで実施します。参加者は、エルサルバドル(1)、カザフスタン(1)、ネパール(2)、セントビンセント(1)の4カ国(括弧内は人数)から選ばれた研究者や担当官5名*です。今回は29回目の開講となり、令和7年1月8日に開講式を行います。(※今回は5名の参加者とは別に、インドネシアから5名のオブザーバー参加を予定しています。)

現在、包括的核実験禁止条約(CTBT: Comprehensive Nuclear Test Ban Treaty)発効に向けた取り組みの一つとしてCTBTの遵守を検証するための国際監視制度の整備が進められており、地震学的手法を用いた監視技術はその重要な柱の一つとなっています。

建築研究所国際地震工学センターは、外務省から依頼を受け、核軍縮推進及び地震防災のための国際貢献として1995年から本研修を気象庁・日本気象協会・独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力して実施しております。この研修では、核実験探知に必要な地震観測技術や核実験を識別するための地震学的なデータ解析技術の習得を目的とし、CTBTの検証体制及び国際監視制度において重要な役割を果たせる人材の育成を目指しています。また、本研修の実施により、地震防災にも有用である自然地震を含む地震観測技術の普及にも資することが期待されます。

<参考1: 開講式の日程>

第29回グローバル地震観測研修 開講式

日時: 令和7年1月8日(水) 15:00~

場所: 国立研究開発法人建築研究所2階講堂(つくば市立原1)

<参考2: これまでの研修修了者数>

- ・グローバル地震観測研修: 78カ国から297名
- ・国際地震工学研修: 106カ国から2,050名(グローバル地震観測研修含む)

<その他研修に関する情報については、1)国際地震工学センターホームページ 2)外務省内「CTBT発効促進に向けた我が国の取り組み」のページを御参照ください>

- 1) <https://iisee.kenken.go.jp/jp/training/train/global/>
- 2) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku/ctbt/hakkou.html>

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人 建築研究所

(内容及び開講式について)

所属 国際地震工学センター管理室

氏名 秋葉 泰彦

電話 029-879-0678

E-mail y-akiba@kenken.go.jp

(公表資料(著作権)の取扱いについて)

所属 企画部情報・技術課

電話 029-879-0652

E-mail link-cl@kenken.go.jp